

東大和三中だより

令和8年1月13日

1月号 (No.9)

発行 東大和市立第三中学校

『成長の1年において』

校長 中屋 珠美

明けましておめでとうございます。先日の3学期始業式では3つのことを話しました。

1つ目。阪神淡路大震災から31年、東日本大震災から15年、能登半島地震から2年がたち、今年に入り鳥取沖で大きな地震があったのは皆さんも知っているところです。震災後も復興におけ取り組む姿に心が揺さぶられます。特に2年前の能登半島地震で甚大な被害を被った地域は、SNS やテレビで復興状況の特集が連日のように発信されています。現地の方々のご苦勞に触れるにつけ、自分たちが災害にあった場合を想定して『自助・共助』についての知識や対応を身につける重要さを感じています。いざという時に生きる(活きる)力を育むため、来年度から、『防災教育』に今まで以上に取り組んでいきたいと思ひます。



2つ目。冬休み中にハルウララという競走馬のドキュメント番組がありました。地方競馬場で生涯成績0勝113敗。一度もレースに勝てなかつたにもかかわらず、国民から愛され生涯を全うした特別な存在の馬です。背景には『勝てないなら処分する』という従来の考えをとらなかつた馬主や厩舎関係者の『走る姿そのものに価値がある』という考えがありました。ハルウララに『負けても一生懸命走るんだ』という意思はなかつたかもしれませんが、レースに出るたびに人々の関心を集め、大きな声援を送られたことは感じていたかもしれません。番組の最後に今もハルウララの雄姿に励まされ、たとえ負け続けても生きることを学んだ、と語る人たちの言葉が印象的でした。番組後、できない言い訳をして、挑戦したいことを先送りしていた自分に対して、今年は一歩を踏み出す決意をしました。



3つ目。いよいよ3学期。来年度の0学期が始まります。4月からの進学・進級において、今までをふりかえり良いスタートが切れるように準備をしましょう。大きな目標でなくとも、毎日『今日もできた、頑張ったぞ!自分!』と自分自身で頑張りや向上が実感できるものもいいです。『学校』という社会の中ではみんなが安心して学び、成長できる環境や集団の質の向上が大切です。一人一人がちょっと先の『なりたい自分の姿』をイメージし努力を続けていきましょう。その努力が集団を成長させる源になります。



今年も生徒の成長を信じ、共に成長を喜び、悩みに応えるために教職員一同取り組んでいきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

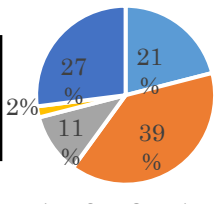
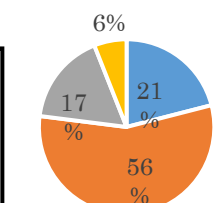
保護者の皆様

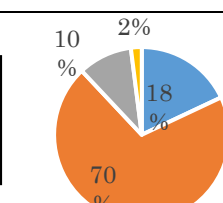
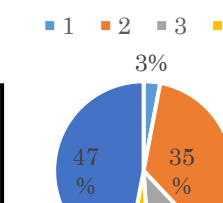
年末の保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。課題解決に向けて真摯に取り組んでいく所存です。今年も本校の教育活動にご理解ご協力、応援をお願いいたします。

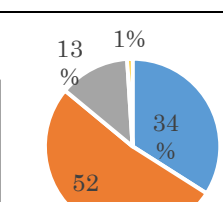
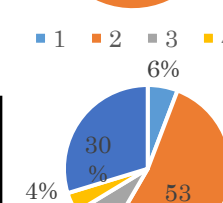
生徒・保護者アンケートの結果について

2学期の保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。生徒及び保護者アンケートの結果の一部を紹介いたします。

★1:とてもよくあてはまる 2:あてはまる 3:ややあてはまらない 4:あてはまらない 5:わからない

生徒	自分の家は、デジタル機器や SNS を使うときのルールがある。	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>生徒</p>  </div> <div> <p>保護者</p>  </div> </div>
保護者	家庭では、子供がデジタル機器や SNS を使うときのルールがある。	
結果	保護者の肯定的な回答の割合は77%ですが、生徒の肯定的な回答の割合は60%であり、17%の差があります。また、生徒の27%が「わからない」と回答しています	
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 各教科や学活において情報リテラシー(情報モラルを含む)や SNS 東京ルールについて継続して指導していく。 SNS のルールについて具体的な事例を挙げながら指導を行い、生徒が日常生活に生かせるようにしていく。 保護者会や三者面談等と通じて、各家庭に SNS 家庭ルールをつくらせることや、そのルールに沿った家庭での使用をお願いしていく。 	

生徒	授業では身につけるべき力(めあて、目標)が黒板などに提示されているので学びやすい。	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>生徒</p>  </div> <div> <p>保護者</p>  </div> </div>
保護者	ユニバーサルデザインで学習環境が整えられ、授業も学習のめあてや流れが示されている。	
結果	生徒の肯定的な回答の割合は88%ですが、保護者の肯定的な回答の割合は38%であり、50%の差があります。また、保護者の47%が「わからない」と回答しています。	
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を活用して、一人一人の理解の状況や能力、適性に合わせた個別最適な学びをより一層推進する。また、特別な支援を必要とする生徒に対する効果的な活用を推進する。 授業中にタブレット端末による意見の発信や共有等の協働的な学びを通して、生徒の学びを深める工夫を行う。 ユニバーサルデザインやタブレット端末を活用した取組の工夫等について、土曜授業公開や学校便り、学校ホームページ等による紹介を通して、保護者に積極的に周知する。 	

生徒	学校は安心して安全な学校生活が送れるところだ。	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>生徒</p>  </div> <div> <p>保護者</p>  </div> </div>
保護者	いじめ未然防止への取組、早期発見・対応など、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。	
結果	生徒の肯定的な回答の割合は86%ですが、保護者の肯定的な回答の割合は59%であり、29%の差があります。	
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 学級活動等を通して、生徒同士が互いの良さを認め合い、信頼を高めることができる取組を工夫して行う。 生徒同士のトラブルの際には、丁寧に聞き取りを行い事実確認するなど、迅速に対応する。 いじめは、いつでもどこでも起こりうるとの認識のもと、教員が普段から生徒の様子や人間関係を丁寧に見取り、「いじめ見逃しゼロ」を目指す。 いじめ防止の取組について、学校便りや学校ホームページ等で保護者に積極的に周知する。 	

3学期が始まりました

3学期の授業が始まりました。どの生徒も、集中して授業に臨んでいます。今年も、生徒たちがどのように成長するのか、とても楽しみです。



